

高田短期大学通信

高田短期大学通信 第51号 2016年(平成28年)6月15日 発行 高田短期大学・編集 図書委員会

新しい年度を迎えて

学長 栗原 廣海



平成二十八年度がスタートしてから、すでに二か月以上が経過しました。一年生の皆さんは「新入生宿泊研修」も終えてようやく高短生活にも慣れ、初めて経験した九十分授業も、そろそろ苦にならなくなってきたのではないのでしょうか。二年生の皆さんは後輩を迎えて、先輩としての自覚のもと、いよいよ充実したキャンパスライフを送っておられることと思います。

昨年発足した本学女子サッカー部は、現在十五名の部員が放課後専用コートで汗を流し、三重県女子サッカーリーグ出場に向けて練習を重ねています。また、十五歳以下の選手で結成した「みえ高田FCピッパル」は、五月のゴールデンウィーク中に開催された「全日本女子ユース(U15)サッカー選手権大会三重県予選」に初出場、勝利を挙げましたが、残念ながら「伊賀FCくノ一サテライト」に敗れ、準決勝敗退となりました。今後は全国大会への出場、

東海女子リーグ上位を目指して練習に取り組みます。

また、本年度から、津商業高校で女子バレーボールの指導に実績を上げてこられた秋津修先生を監督にお迎えし、バレーボール部が強化されました。これまで参加してきた「三重県学生男女バレーボールリーグ」に加え、「東海大学男女バレーボールリーグ」にも参加、春のリーグ戦では、強化元年にもかかわらず、見事四部リーグで全勝優勝をかざり、プレーオフでも一位になって、一気に二部昇格が決定しました。次の目標は、秋のリーグ戦での二部優勝、一部昇格と、六月末に行われる「西日本バレーボール大学女子選手権大会」での上位入賞です。

さて、昨今、高大接続、つまり、高校教育と大学教育をスムーズにつなげ、学生が学修を滞りなく進めて優れた成果を獲得するための改革の必要性が議論されています。そこで、本学も接続改革の一環として、本年度より「スタートアップゼミナール」をスタートしました。一年生の皆さんはこの授業を現在受講中ですが、どのような印象をもっておられるでしょうか。このゼミナールは、授業の内容は各学科、コースで異なりますが、大学での学びの基本的な姿勢やスキル、社会的なルールやマナー

などを身につけることで、短大生として主体的に学び、ふさわしい行動をとるための準備をする」という共通のテーマをもつとともに、このゼミナールが目指す学修到達目標も、①大学で学ぶための基本的な姿勢を身につけ、課題を持って意欲的に学ぶことができる。②課題の解決に向け、「聴く」「考える」「伝える」等の基本的な能力が身につく。③社会的なルールやマナー、倫理、規範などを理解して、しっかりと行動できる、という共通のものであります。

学専専門知識や技能・技術は各学科、コースで異なりますが、社会人として身につけたい基礎力は共通です。この授業を通して、社会に有為な人材としての礎を築かれることを切に願っています。

本学は今年、開学五十周年を迎えました。めまぐるしい時代の変化にもかかわらず、本学が順調に建学の精神、教育の理念に基づきゆるぎない教育ができていますのは、高田学苑に学び、卒業された皆さまの地域社会でのご活躍のたまものと、深く感謝申し上げます。学生の皆さんも、先輩の皆さんたちの名に恥じないよう学修に励み、その成果を社会に発揮して、地域の発展・活性化に貢献できる人へと成長してください。

目次

学長のごとは	1
学科紹介	2
子ども学科	2
キャリア育成学科	2
オフィスワークコース	3
介護福祉コース	4
トピックス	4
開学五十周年記念行事	5
学生自治会、みえ高田FC	5
学生生活・学生生活支援	5
新入生宿泊研修、	5
オーストラリア研修	6
キャリア支援センター、	6
保健室、カウンセリング室	6
留学生支援室	7
留學生支援室	7
地域連携施設等	7
仏教教育研究センター、	7
育児文化研究センター、	7
図書館	8
キャリア研究センター	8
介護福祉研究センター	8
高大教育連携	9
着任、人事、同窓会近況	10
卒業生からのメッセージ、	10
貸借対照表	11
就職状況、編集後記	12



「保育園落ちた・・・」



子ども学科長
千草 篤磨

今年二月に子どもを保育園に入れることができなかった母親が、「保育園落ちた日本死ね！」という怒りの文章をブログに掲載しました。たちまち日本中に拡散し、マスコミや国会でも取り上げられて、安倍首相も保育園の定員を増やすことと、保育士の待遇を良くしていくことを約束しました。

「死ね」という過激な表現には賛同できませんが、この母親の心情はよく分かります。保育園は、子どもの発達保障の場であると共に、働く両親の生活保障の場にもなっているのです。保育園の「量」を増やすと共に、その保育の「質」を高めていかなければなりません。そのためには保育士や幼稚園教諭の待遇を改善すると共に、養成機関である大学の教育内容を絶えず高めていく努力が不可欠であると考えています。

活動報告

一年生見学実習

五月、高田幼稚園・高田保育園に訪問し、見学実習を行いました。



プロの保育者の姿を見て憧れを抱き、子どもと一緒に遊んでふれあうことで、一層「保育者になりたい！」という思いが強まった実習となりました。

オープンキャンパス

六月と七月、本学でオープンキャンパスが開催されました。「授業＆実習コーナー」「音楽＆保育教材コーナー」「見学コーナー」の企画・運営を学生が行い、高校生に子ども学科での学びを紹介し、実際に体験

二年生になつて



子ども学科二年
野崎 安紗美

入学してから一年が経ちました。高田短期大学の学生生活を振り返ると毎日充実しており、とても早く感じられます。

入学当初は、初めての環境や専門科目があり、これからやっていけるのか不安を感じていました。また、実習ではわからない

験してもらいました。当日は、たくさんの高校生や保護者の方々に来ていただき、どのコーナーも活気が溢れていました。

春季就職特別講座



三月、一年生を対象に、春季就職特別講座を開催しました。午前中は、就職が内定した二年生から就職活動に向けての体験談を聞き、午後は自身が就職を希望する園を想定して実際に履歴書作成を行いました。先輩の就職先を決定するまでの迷いや、就職試験の準備、保育者になるにあたっての心構え等、一年生にとつて大変貴重な学びとなりました。午後から、真剣に履歴書作成に取り組み姿が見られました。

いことや戸惑うことが多く悩むこともありましたが、そのような時にはすぐそばで親身になって相談ののっていただけの先生方がいることや、同じ保育者になるという目標を持つ仲間たちと共に励まし、支え合うことで乗り越えることができました。残りの学生生活も、仲間と協力し合い、助け合いながらよりよい日々を過ごしていきたいです。心配りと笑顔を絶やさない保育士になれるよう頑張ります。

高田短期大学に入学して



子ども学科一年
木平 麻耶

いつの間にか入学してから一か月が経ちました。あまり、短大生になったという実感はありませんでした。しかし、授業が始まると一気に実感が湧きました。今まで幼稚園の先生になりたいとしか考えていなかったのが、あと二年後にはどこかの園で働いていると先生から言われ、すごく頑張らなく



給食再考

鷺見 裕子

「給食」と聞き、何を思い出しますか。好きなメニュー・苦手なメニューでしょうか。年齢により給食の体験は異なります。現在、小学校ではほぼ100%実施されていますが、中学校は全国平均八十六%で、地域による差が大きく、実施率の低い県では二十%前後です。飢えに苦しむ子どもの救済から出発した給食ですが、今では多くの役割を担っています。家庭の食事で不足しがちな栄養を補う。食品を選べない、望ましい食習慣を育むための食育教材。また、国の食

てはいけないという気持ちになりました。自分の好きな分野を勉強することができ、毎日がとても意味のある一日になっているように感じます。

今月には、初めての实習となる見学実習があります。この一か月で学んできたことを最大限に生かし、一つ一つの出来事を吸収して意味のある実習にしたいです。そして、二年間仲間の輪を作ってお互い助け合い、励まし合い、競い合い良い学生生活を送り、立派な保育者になりたいです。

糧政策でも変わります。今は食糧自給率向上をめざし、国産や地場産が推奨され、主食もパンからご飯へ。献立洋風化やスプーン使用、食事作法など日本人の食を変えようという思いもありました。

様々な食分野を学んできましたが、大学院でのテーマが学校給食でした。主題は「給食中の無機質含有量」で小学校を回り、給食を集め、実験室で分析機器や出たデータと格闘する日々でした。背景研究で給食の変遷を調査して、給食が日本の食や生活、社会との関連なしでは語れず、食と人の生活との繋がりに初めて気づかされた研究でした。最近目にした「一日一食給食がまともな食事」という貧困の記事に、今一度、給食に注目してみようと考えています。

キャリア 育成学科 オフィスワークコース



「次なるステージに向かって」



キャリア育成学科長
オフィスワークコース長
杉浦 礼子

本年度七月に、本学は五十年記念事業を執り行います。つまり本年度は、次なる半世紀に向けて歴史を築く第一歩の年となります。その年に、オフィスワークコースと介護福祉コースの二つの専門コースからなるキャリア育成学科へ入学定員の百名、そのうちオフィスワークコースは定員を大幅に超える七七名の入学生を迎え入れ、スタートすることができたことは嬉しい限りです。

「老舗」の定義は様々ですが、長きにわたり社会や人から意義を評価され、信頼され、存在し続けた法人であることに間違いありません。これは高等教育機関においても同じです。これからも激しい環境変化に対応しながら、社会や人から評価され、信頼され続ける人材育成および研究活動に取り組み、歴史を積み重ねてまいります。

活動報告

キャリアデザイン講演会

一年生後期開講科目「キャリアデザインⅡ」は、両コース全学生が履修しました。多様なキャリアを積んだ方や、様々な業種・職種で活躍されている方を招き講演を聞き、社会で求められる倫理観・社会性、責任感などを培うことを目的としています。平成二七年度は銀行や医療現場などで活躍されている学内外八人の方の講演を聞きまし



二年生になって



キャリア育成学科
オフィスワークコース二年
森田 夏菜

入学して二年目に入りました。この一年間、とても充実した日々を過ごすことができました。資格取得のために学校に残って勉強に打ち込んだり、オープンキャンパスのスタッフをして高校生と交流する機会もありました。夏の社会体験実習では、企業にお邪魔して、授業を通し

社会体験学習・実習

「社会体験学習 社会体験実習」は、昨年度で十八年の歴史を積み重ねている本学独自の科目です。学生自身が実習先に事前訪問のアポイントメントを取ることに始まり、就職活動を意識した履歴書・お礼状の書き方を学び、実習後は全学生が実習の様子を報告する報告会に参加します。さらに、より良い科目とするために実習先の指導担当者や招いた社会体験実習反省会も実施しています。



なお、昨年度は、四八人が履修し、官公庁・自動車販売店百貨店などの県内十九事業所二三箇所を実習しました。

て学んだビジネスマナーを実践することができました。二年生になり、就職活動が本格的に始まりました。企業説明会に参加したり、履歴書の作成や面接練習など、一年生の時とは少し違う形で、充実した生活を送っています。今まで充実した日々を送れているのは、自分の努力はもちろん、先生方が親身になってサポートしてくれたおかげだと思えます。支えてくれる周りの方に感謝しながら残りの学生生活ももっと充実させたいです。

研究余滴



明治維新の輝ける女性たち

島山 義啓

NHKの「あさが来た」で取り上げられた、広岡浅子は、京都三井家に生まれ、嫁ぎ先の大阪加島家で、炭鉱開発とともに加島銀行、大同生命を設立した人物である。また、女子教育のために日本女子大学を創立した。ただ、当時の日本には、江戸幕府が各国と結んだ不平等な条約があった。そこで、条約改正をめざし、文化水準が欧米並みであることを証明するため鹿鳴館が建設され、各国の大使らを接待することになった。ここで、

高田短期大学に入学して



キャリア育成学科
オフィスワークコース二年
水谷 あずさ

まだ入学して一か月ほどしか経っていませんが、学校生活にもだいぶ慣れてきた気がします。高校とは違い、社会に出て必要な勉強をしているので、授業にも、より一層力が入ります。新しい友達もたくさんでき、毎日が新しいことばかりでとても充実した日々です。

鹿鳴館の女主人といわれたのが井上武子である。彼女は、夫である井上馨とともに二年間ヨーロッパにわたり、マナー、ダンス、料理を習得し、鹿鳴館を運営したのである。もう一人、鹿鳴館の華といわれたのが陸奥亮子である。彼女は後に駐米日本公使夫人としてワシントンに赴任している。英語の特訓を受け、社交界にデビューし、数か月で千二百回の要人訪問をこなしたとのことである。さらに、毎朝二時間、日本の小説の英訳に時間を割き、日本の文化水準の高いことを証明しようとしていた。「あさが来た」をきっかけに明治の初め、たくましく華麗に生きた女性たちを知ることとなった。まさにBrilliant Women in Meiji era である。

高田短期大学のオフィスワークコースでは、一年間を通してたくさんの資格を取ることができ、また夏休みには社会体験実習があり、将来に向けての実践的な活動があります。これらの経験を生かして成長できるように頑張っていきたいと思えます。いつでも、Skill(技術)・Smile(笑顔)・Sincerity(誠実)の三つのSを忘れずに、これからの学校生活を送っていきたいと思えます。

キャリア 育成学科 介護福祉コース



介護福祉士の専門教育追求と
国家試験対策



介護福祉コース 准教授
福田 洋子

平成二九年度から介護福祉士養成施設卒業者に国家試験受験資格が付与され、五年間をかけて漸進的な導入が図られることになりました。つまり平成二八年度入学生から国家試験を受験するという事です。

この施策は、介護福祉士の資質向上を目指したのですが、これまで以上に国家試験合格を意欲した試験対策を強化していく必要があります。

今後、対象者の自立支援と尊厳を尊重した介護が提供できる介護福祉士養成教育は変わるものではないですが、教員は一丸となり、国家試験合格百パーセントを目指した、質の高い介護福祉士養成に取り組んでまいります。

活動報告

介護体験バスツアー

本学介護福祉研究センターと連携し、特別養護老人ホーム安濃聖母の家、特別養護老人ホーム報徳園を見学しました。高校生の皆さんも参加し、学生とともに交流する姿がみられました。最後に、入所者の方とレクリエーションを通して交流を図りました。

地域の高齢者との連携事業

介護福祉研究センターとの連携事業に協力し、シーズネット三重に所属する二二名の方が



成長し続ける



キャリア育成学科
介護福祉コース二年
佐々木 みなみ

高短での初めての先輩ができました。二年生の私たちを前に自己紹介してくれる先輩に、一年前の介護技術など全く知らなかった自分の姿を見ました。振り返ってみると高短祭、現場実習、海外でのボランティア活動。何もかもが初めてで、あつという間に一年が過ぎまし

来学されました。

第一部は二年生が手浴・ハンドマッサージについて説明し実施しました。「気持ちいい」と好評で、「皮膚が白くなった感じがする」という感想もいただきました。



第二部は一年生が参加者から一九六四年、一九七〇年をテーマに当時の生活の様子や体験談について聞きとりを行いました。新幹線が開通した当時、注目の駅まで見に行ったり話やなどたくさんのお話や当時の様子などが切れ間なく飛び交い、学生は聴き入っていました。

た。実習では、学校で学んだ知識をいかし、現場の空気、自分がやったことに対する利用者の生の反応、仕事の重さを身に染みて感じる事ができました。私たちは卒業したら介護福祉士になります。それは、命を預かる立場になるということです。その事を常に忘れず、一つ一つの授業を大切に、積極的に取り組んでいきたいです。

高田短期大学に入学して



キャリア育成学科
介護福祉コース二年
金子 実苗

キャリア育成学科介護福祉コースに入学して、一か月経ちますが、日々がとて早く感じます。

不安いっぱいでしたが、宿泊研修を通してクラスがまとまりました。

介護は私が思っていたものよ

研究余滴



若者に期待すること

橋本 景子

最近の若者のことを例えた、言い得て妙な言葉を耳にした。「そこそこ世代」だそうである。カウンセリングをしている立場からは、非常に的確な言葉と受け取ることが出来た。

彼らの視点は内側を向いており、「無難が一番」と言う。これもまた納得がいく。多くの若者が自分の意見を言わず、ことを丸く収めようとする傾向が見られる。しかし、このことは若者に限らず、最近の日本人全体に見られる傾向でもある。農耕民族である私たち日本人

りも奥がとて深かったです。シーツの敷き方にも手順があり、とても勉強になりました。高田短期大学では、自分の価値観の特性を自らよく理解できる「やわらかい心」を学ぶことができるので、私は自分自身の価値観を知り、高齢者の心を理解し、尊重し、寄り添えるような介護福祉士になれるように日々、頑張っていきたいです。

は、「協力」を重要視してきた。その協力がいつしか「和と同」の混同になったようである。

例えば、髪の色も実習などでよく問題になるが、これは日本が単一民族で、黒髪が普通だと思っっているからである。もうそんなことはないと思うが、かつては生まれつき茶色い中学生の髪を、教員が黒く染めるといいう現実も目の当たりにしてきた。「世界の日本人ジョーク集」に「国際会議において有能な議長とは(中略)日本人を喋らせる者」とある。つまり「そこそこ世代」は作られるべく土壌があって作られてきたのである。これまでのついでに若者に肩代わりさせるのはしのびないが、世界に目を向け、日本をリポートさせてくれることを期待する。

開学50周年記念行事

事務局次長 金丸 博文

高田短期大学の開学五十周年を記念し、来る平成二八年七月一日(金)・午後一時三十分から三重県総合文化センター・三重県文化会館大ホールにて高田短期大学教育後援会、並びに樹心同窓会の後援を受けて記念式典を開催します。

式典ではこれまで長年にわたり本学の振興にご尽力いただいた先輩諸氏をはじめ僚友の皆様へ寄稿を賜り五十年の歩みをとまりまとめた記念誌を発表します。

また、本学には学歌がありませんでした。今回は学歌を披露します。今後は愛着のある学歌として皆様に親しまれ、記憶に残る学歌となるよう念じます。

続く第二部では池田清彦さん「ホンマでっか!? TV」出演中の生物学者、早稲田大学教授「V」をお迎えし、演題「困難な時代をどう生きるか」の記念講演を開催します。

在学学生は全員が参加します。少しでも多くの学生が五十年の歴史と人々に敬意を表し、そして新たな一歩を刻んで次世代に臨む式典と感じていただけたことを念じます。

学生自治会

こんにちは、私たちは学生自治会執行部の十三人です。

今年度から自治会執行部として様々な活動をさせていただいています。先輩方からアドバイスをいただけて、少しずつですが自分たちの役割を覚えることが出来ました。これから先も先輩方から教えていただいた事を活かし、自治会活動に励みたいと考えています。

私たちの初めての活動は、一月に行われたTJC祭です。たくさんの方が参加し、チームによって個性豊かな衣装で盛り上げてくれました。それだけではなく、それぞれのチームが競い合い、とても盛り上がった行事となりました。今年度からは五月にTJC祭を開催します。昨年度よりもさらに盛り上げていきたいと思っています。

また、四月の新生ガイダンスでは私たちが中心となって初めて企画と進行を行いました。そして十月には高田短期大学の一大イベントの大学祭があります。今年度は十月二十二日(土)と二十三日(日)に開催いたします。



大学祭では学生の皆さんの意見や要望を取り入れ、より良い大学祭にしていきたいです。それだけではなく、地域の方々とふれあいや学生同士の交流も深めていきたいと考えています。学生の皆さんのなかに楽しい思い出として一生残るものになるよう努力していきたいと思っています。

まだまだ不安な面や至らぬところも多々ございますが、学生の皆さんの短大生活をより充実したものになりたいと考えておりますので、ご指導の程よろしくお願いたします。

みえ高田FC

女子サッカー部監督 宮本 ともみ

四月より十五歳以下の女子中学生を対象としたクラブチーム『みえ高田FC』が、この高田学苑多目的グラウンドを拠点として始動しました。現在、三重県内在住のサッカー初心者、経験者合わせて十五人の選手で活動をスタートし、週に四日ほどトレーニングに励んでおります。

北は名張、南は伊勢と通うことが容易でない中、初年度からこれだけの選手に集まっていただけたことを感謝し、このチームを選んでよかったと感じてもらえるよう、一生懸命がんばっていきたくて思います。

五月上旬には全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権三重県予選が開催され、初めての公式試合に臨みます。



選手には目標を明確にし、その目標に対してあきらめない強い気持ちで努力を続けてもらいたいと思っています。そして選手には、たくさん仲間と助け合い、励ましながら困難を乗り越え、課題を克服し、大きな喜びを分かち合ってもらいたいです。

将来的には全国レベルで活躍できるチームに育て上げ、このみえ高田FCからなでしこジャパンに選出されるような選手を輩出したいです。そして、この三重県を女子サッカーで盛り上げ、高田学苑関係者のみなさまはもちろん、三重県民のみなさまに愛されるようなチームにしていきたいと思っています。



平成28年度
新入生宿泊研修



学務委員長 福西 朋子

新入生オリエンテーションの締めくくりとして、四月二二日(金)・二三日(土)に「新入生宿泊研修」を白山ヴィレッジゴルフ倶楽部で行いました。新緑に囲まれた会場に新入生の初々しい笑顔がはじける二日間となりました。研修への取組み、新しい仲間とのかかわりにより、短大生としての自覚・自立心や協調性を養うこと、そして、学生・教員相互の親睦をはかることができました。学長講話を含む開講式に始まり、学科研修やパターゴルフを実施しました。

学科研修
○子ども学科

一日目、午前の「すてきな保育者になるために」では、身近な材料で四種類の楽器を作り、最後はみんなで合奏をしてそれぞれの楽器の音色を楽しみました。午後は、毎年恒例の「つくって、あそんで、みせて二〇一六」でした。ゼミ毎に子どもを振り付け、衣装製作するかという活動です。限られた時間の中で、どのゼミもアイデア・工夫満載で、その成果が披露され

ました。完成したものを見せ合う楽しさもありましたが、作る過程での一体感やチームワークよく取り組む大切さを感じることができました。学生同士や教員を交えての親睦を深めることができた二日間でした。



○キャリア育成学科

「先生にインタビュアー」をテーマにオフィスワーク、介護福祉両コース合同で行いました。事前に考えてきた学科教員についての質問を持ち寄り、グループごとにインタビュアーをしました。様々な経験から現在の職に就いている教員をロールモデルに、仕事面での質問からプライベートの過ごし方まで、大々では見えない素顔に迫る質問をインタビュアーしました。その後、グループを組み直し、ポスターアートと題して全員が報告

をしました。それぞれが自分の役割を果たしつつ、教員と学生が一体となり、一つの作品を作り上げて行きました。夕食前のひと時は、各コース別研修を行い、コースでの親睦を深めました。

パターゴルフ大会

新入生のほとんどが初めての経験となるパターゴルフでした。ゼミ別に一つのボールを交代で打っていくルールで行いました。初めのうちは、ボールに当たらなかつたり、思った方向に転がらなかつたりしましたが、ゼミ仲間でチームワークよく、応援しながら行う姿が見られました。研修後の振り返りにおいて、大学生活への不安が一蹴されたとの感想もあり、今後に向けて有意義な研修となりました。



オーストラリア研修
オーストラリアで学んだこと、経験したこと

子ども学科二年 出口 優花

海外研修でオーストラリアへ行き、知らない土地で習慣の違い、オーストラリアの文化など様々なことを実際に感じて、学ぶことができました。特に、幼稚園を訪問した時は大変参考になった。粘土、折り紙、おままごと、塗り絵、それぞれの遊ぶスペースが確保されており、子どもたちがいろいろなものに興味を持ち、手に取り遊べるように環境が整っていた。保育者による準備がしっかりされているため、子どもたちは大人に手



伝ってもらうことなく遊んでいた。日本では「これしてほしい」など大人が手を貸すことが多い。幼児期の少しの環境の違いで自立できる年齢も変わってくるのだと感じた。子どもたちの年齢に合わせ、子どもたちが自分たちでできるように保育者が道具や材料を準備することが重要であると思った。この研修を通じて、言葉が違いう中で自分の気持ちを相手に伝えること、相手の気持ちを考え理解することの大切さを改めて感じた。オーストラリアで生活をし、初めての経験ばかりでかけがえない思い出となった。また、ファミリー、先生、友達、家族、自分の周りで支えてくれていた人への感謝の気持ちでいっぱいになった。

キャリア支援センター

キャリア支援センター長 岩間 知之

キャリア支援センターでは、学生の皆さんの就職活動をはじめ働く事全般に関するサポートを行っています。

今年度のスタッフ八人を紹介します。まず、学生から「みのりん」と呼ばれ親しまれている梶間稔先生。教学部長でもあり高短生のことを熟知し、学生からの信頼感は抜群です。次はキャリアカウンセラーの資格を持つ野崎千恵先生。働く事への不安や悩み、疑問のある人などには、豊富な専門的知識と経験をもとに、丁寧な相談に応じていただけます。また、子ども学科の講師兼キャリアサポーターで元幼稚園長の稲田直子先生と元保育園長の水野潤子先生からは、園のことはもちろん、人生の先輩としての確かなアドバイスがいただけます。冷静沈着な稲田先生と明るく大らかな水野先生のバランスは絶妙です。さらに、主に企業への就職活動の支援をしていただく高橋孝範先生と小田富彦先生は、お二人とも元百五銀行の支店長です。県内企業のことは何でもご存知で、細部にわたって懇切丁寧に指導されています。そして、予算や事務全般を司っていただく横山

雅子先生は、当センターの生き字引のようなベテラン職員です。最後に私、岩間知之は新任の当センター長です。

「働く」ことは、人生の豊かさに繋がる重要な営みです。また、「いかに働くか」は、限りある人生を「いかに生きるか」と同じ意味を持つ大切な問いであるとも言えます。学生の皆さんには、将来の自分のあり方や生き方について、真剣に考えていてほしいと願っています。

ポランティア活動支援室は、キャリア支援センターと保健室の間にあり、杉谷哲也先生がおられます。学生時代にしかできない貴重な学びの体験をサポートしていますので、ぜひ、積極的に訪ねてみてください。

保健室では、皆さんが心身ともに健康で充実した学生生活を送れるようにお手伝いをしています。皆さんが学校で体調が悪くなったときやけがをしたとき、応急処置をします。ベッドやソファで休養もできます。



保健室

富永 礼子

また、皆さんが自分のことや身体の健康について知り、より健康になるためにはどうすればいいかを一緒に考えていきます。社会人になるまでに、こころと身体の健康を気遣える人になってください。

また、こころや身体のこと、対人関係や将来のこと、何か相談したいと思ったときには、保健室に来てください。保健室で皆さんが話してくれた内容は、皆さんの了解を得ずに誰かに伝えることはしません。安心して相談してください。

保健室でカウンセリングの予約をすることもできます。

059-1253-1703
保健室直通電話

カウンセリング室

カウンセリング室長 千草 篤麿

「他者から良く見られたい」、「友だちに嫌われたくない」、「ダメなやつだと思われたくない」などといった気持ちは誰にでもあるものです。しかし、誰からも好かれ、誰からも嫌われない人はいらぬでしょうか。話題や趣味の合う人もいれば、全く合わない人もいます。それにも関わらず、誰からも好かれようとすることは現実的ではありません。

誰からも好かれようとすることは、かなり無理をして不自然な自分を演じることとなります。しかし、演じていることに自分では気づきません。知らず知らず無理をして、辛そうに笑顔を振りまいている人がいます。これでは、ストレスが重なるばかりです。というものの、ありのままの自分をさらけ出すのは、簡単なことではありません。

この様な人間関係で悩んでいる人は、是非カウンセリング室を訪ねてみてください。

留学生支援室

外国人留学生支援室長 北川 裕之

外国人留学生支援室は独立した部署ではなく、事務局の学生課が兼務するという形態をとっています。今年度からは教務課からも一名増員され、総勢三名で留学生の支援に当たっています。

数年前までは本学への留学生はほとんどが中国からでしたが、近年はベトナム・スリランカ・ネパール・フィリピン・モンゴル等多様な国籍の留学生が在籍しているため、より繊細な対応が必要となっています。

外国人留学生支援室の業務内容は学修支援以外に、アルバイトやアパートに関する相談を受けたり、留学生への生活用品や電化製品などの貸与を行なったりと、入国管理局への書類作成および代理申請等を行なっています。

また外国人留学生支援委員会と協力し、日本語特別講座や個別学習支援等で日本語能力の向上を目指します。また日本人学生や、本学を卒業した留学生と交流するイベントや、三重県内の見学バスツアーも企画しており、外国人留学生の短大生活がより有意義なものになるよう支援していきます。

仏教教育研究センター

センター長 松山 智道
当センターは、本学の建学の精神に基づき、仏教文化の護持発展を目的に活動しています。

その活動内容は、まず第一に、毎月一回、研究会を開催しています。現在は、高田派中興の祖である真慧上人が著された『顕正流義鈔』の研究を進めています。

第二には、図書館に寄贈されている貴重な仏教関連図書および資料の整理と管理を行っています。

第三の活動としては、年に二回、「公開講座」を開催しています。地域の方々に仏教に触

れていただく機会をご提供すること、高田本山教学部との共催にて真宗高田派本山にて開講し、多くの方々が受講されています。



第四の活動は、高田本山寄附講座として、「仏教基礎講座」と「仏教専門講座」を開催しています。現在「仏教基礎講座」は八月に五日間(毎日五講座)開講し、「仏教専門講座」は毎月一回(一日五講座)で年十回(十一回目が試験日)の講座となっています。両講座とも高田派の教師・布教使養成の講座であるとともに、地域に開放された地域貢献事業としての講座であり、一般の多くの方が受講されています。特に「仏教専門講座」は文部科学省の「履修証明プログラム」として提供し修了者には学校教育法に基づく履修証明書が交付されるので、受講者の励みとなっています。



育児文化研究センター

主任研究員 青木 信子

本センターは、子どもの教育や福祉、子育て問題、児童文化等に関する研究を行うとともに、地域社会への貢献と連携をめざし、日々歩んでいます。平成十六年の開設より、皆様のご協力ご支援により活動の幅が広がり、地域から大切にいただけているようにもなってきました。

これまで以上に、地域の子育て支援に貢献できるように、特色ある研究や事業活動の充実に努めたいと思っています。今後ともご支援・ご協力の程よろしくお願い致します。



★地域開放事業★

「おやこひろばたかたん」では親子の交流・活動ができる場を提供しており、子育て講座や子育て相談も行っています。親子・子ども同士・親同士がふれあえる楽しい場、そして子育てについて互いに学べる場にもなっています。

※おやこひろば、子育て講座、子育て相談の詳細については本学ホームページをご覧ください。

★地域連携子育て支援事業★
地域団体や行政との連携協働による子育て支援活動に参画します。また、津市内の子育て支援者の交流会や研修会、保護者研修会を企画・運営します。

★研究活動★
育児教育、子育て問題、児童文化等の研究を定例研究会やグループ研究により進めています。

★学生支援事業★
「子育て応援隊」として学生が地域の行事や活動に参加しています。将来保育者になるための学びにつながるよう支援しています。



図書館

図書館長 鷲尾 敦

図書館の活動を支えてくれる学生ボランティア「図書館メイト」が、昨年度は、新たな試みに挑戦しました。

一つは、子ども学科の学生が良く利用している保育実践書の配架場所の移動です。「図書館だより」の記事用に私と数名の図書館メイトで座談会を行いました。その席で二階の保育実践書の配架場所が狭く一度に学生が来るので渋滞しているという指摘があり、これを受けてグループワークエリアに移動し、そこにあつた辞書・辞典類を二階に上げることになりました。この移動を夏休み期間に図書館メイトの力を借りて行いました。

二つ目は「選書ツアー」です。日程が合わず参加人数はわずかでしたが、津市内の本屋さんへ行き、学生視点で図書館に必要と思われる書籍を選びました。

今年も多くの図書館メイトが活動に参加してくれています。今年ほどのような活動になるか、楽しみです。



キャリア研究センター

センター長 杉浦 礼子
平成二六年六月に発足し、昨年度初めて、一年間を通して活動することができました。次に活動の一部をご紹介します。

*研究活動

人材育成、雇用・労働問題、地域活性化をテーマとした研究成果をまとめた「キャリア研究センター紀要・年報」第二号を発行しました。

*連携事業

「女性活用・活躍連携勉強会」連携協定先である百五銀行・百五経済研究所と共催し、「女性社員の採用・定着・戦力化を考える」をテーマに連携勉強会を開催しました。



参加した学生も企業経営者や採用担当者とともに活発に意見を交わす様子が見られました。

「一身田寺内町再活性化プロジェクト」

学生と一身田寺内町商工振興会、津市役所などが連携して、一身田寺内町再活性化を目指し、地域ブランドの構築および「蓮」をテーマとした新製品開発に取り組みました。学生と地域事業所がコラボレーションして開発した商品は、平成二八年一月の「お七夜」で販売されました。



介護福祉研究センター

主任研究員 徳山 貴英

平成二六年度に開設されました高田短期大学介護福祉研究センターは三年目を迎えることとなりました。本学付属の地域連携施設として、介護福祉、高齢者問題、障害者問題等に関する研究を行うとともに、地域福祉に寄与する機関として着実に歩みを進めています。

昨年度は、①介護福祉等の研究活動に関すること、②地域福祉分野での社会への貢献と連携に関すること、③本学卒業生及び介護福祉に携わる人の研修、交流活動等に関すること、④研究紀要の発行に関することを柱とした事業を実施することができました。

今年度は前年度の事業を踏襲し実施していきます。参加希望の方は本学ホームページをご確認ください。

*平成二八年度の事業内容

・ 高校生を対象とした 介護福祉啓発活動

今年度は八月の開催を予定しています。高校生を対象とし、県内の特別養護老人ホームを見学します。介護の現場を体験してもらうことを目的としています。

・ 高齢者を対象とした 介護福祉啓発活動

地域の高齢者を対象とした本学で開催する体験型の講座となつていきます。

学生とともに様々な介護を体験することができます。



・ 介護職員キャリアアップ講座

介護職員を対象とした講座を開催します。本センター研究員が講師として、地域の施設へ出向き講義を行います。

・ 介護福祉研究セミナー

今年度は計二回実施します。第一回のセミナーは本学にて六月五日(日)に開催します。第二回のセミナーは一月四日(日)を予定しています。一般の方や卒業生を対象としています。

・ 定例研究会

学内外の研究員が専門分野の研究発表を行う場となっています。卒業生や一般の方も参加可能です。



高大連携事業

入試広報委員長 鷲尾 敦

平成二五年度より、本学に多くの入学者がいる県内の高等学校との間で高大教育交流事業を進めています。現在十三の県立高校と協定を結び、高田高校も含めて、出前授業や本学での特別授業などの教育交流を進めています。また、年三回の教育交流連絡協議会を開催し情報交換し、高大接続の教育課題について協議しています。

これまでに、本学の入学前課題、共通教育のスタートアップゼミナールなど本学が進める案について意見を頂き、より良い内容にしていけることができました。また、高等学校のキャリア教育や基礎学力の充実に向けた取り組みについて意見交換も行っています。

交流事業としては、高校に向いての出前授業や職業別ガイダンス、本学での特別授業などを行っており、連携校以外にも含めると、平成二七年度は百四十講座を開催しました。他に、連携事業以外にも高校生向けイベントを行っています。今年度は、オープンキャンパスを六月十八日(土)七月十七日(日)、高短フェアを来年三月十二日(日)に開催します。

着任のみなさん



やわらか心の魅力
子ども学科
松山 智道
英国の詩人ワーズ・ワースは「大人になっても、まだ虹を見て、胸が躍る自分があります。心の柔らかさをいつしか失い、頑固になってゆく自分。尊敬する東井義雄先生が座右の銘とされたワーズ・ワースの「子どもこそは大人の父ぞ」を思い出す高田短期大学であります。



自覚と誇りをもった保育士の養成を目指して
子ども学科
武藤 敦士
四月より子ども学科助教としてお世話になっていきます。



やわらか心で三方良しの精神を!
キャリア育成学科
海住 信行
柔らかな心と体で、青春をい

私の研究領域である社会福祉は、国民の健康で文化的な生活を支える最後の砦です。保育はその一領域ですので、学生が「自分たちが国民の生活を守っているんだ」という自覚と誇りをもてるように、取組んでいきたいと思えます。

きる学生諸君とともに過ごせることに感謝しています。『やわらか心』の社会人育成という教育理念のもとに、近江商人の三方良し(売り手良し、買い手良し、世間良し)の精神を、日常の大学生活の中で身につくよう支援してゆきたいと思っていますので宜しくお願いします。



二号館ホール横の部屋で待っています
キャリア支援センター
岩間 知之
新しくキャリア支援センター長として着任しました。皆さんのご両親が高校生の頃、久居高校で社会科と卓球を教え、十一年程前からは名張西、津東、四日市高校で校長をしていました。



再出発 教務課
加藤 光博
四月より事務局教務課で勤務させて頂き早二ヶ月が経ちました。以前は中・高事務部で庶務課を中心に長年校舎の改築業務に邁進してまいりました。この度配属になりました。教務課は、今までは全く異なる仕事内容で、初心に戻って一から再勉強の毎日です。何かとご迷惑をお掛けしますがよろしく



新たな挑戦
入試広報課
秋津 修
一昨年まで津商業高校、昨年まで名古屋産業大学でバレーの指導をし、本年四月より高田短期大学にお世話になっております。少数の部員・2年間で戦いますが、ハンディを力に変え東海リーグ制覇を目指します。バレーを通じて人間の活性の向上を指導理念として大学の活性化と地域貢献に尽力したいと思えます。



母校の高田短期大学へ
総務課
片岡 亜里紗
オフィス情報学科を卒業後、学苑本部で五年間勤務し、四月から母校の高田短期大学で勤務させて頂きたくこのようになりました。



「学生相談室を気軽に使ってください」
カウンセリング室
瀬島 美保子
四月より学生相談室にカウンセラーとして着任しました。相談室では皆さんの悩みや心配事について、少しでも軽くなるようにお手伝いしていきたいと思っています。苦しい想いを一人で抱え込まないで、一緒に考える場として気軽に使っていたら幸いです。来室をお待ちしています。

セラーとして着任しました。相談室では皆さんの悩みや心配事について、少しでも軽くなるようにお手伝いしていきたいと思っています。苦しい想いを一人で抱え込まないで、一緒に考える場として気軽に使っていたら幸いです。来室をお待ちしています。



皆様との出会いご縁を大切に
キャリア支援センター
小田 富彦
ご縁をいただき、四月からキャリアサポーターとして学生の皆さんの就職活動を支援させて頂くことになりました。これまでの民間企業における勤務経験を活かして、学生の皆さんと一緒に就職戦線を闘っていきたいと思えます。気軽に相談していただけるよう取り組んで参りますのでよろしくお願い致します。

新年度が始まり、あつという間に一ヶ月が過ぎ学生時代の恩師や事務所の方々に親切にしてください嬉しく思っています。高田短期大学で学べてよかったと思える学校づくりをしていくたらと思っておりますのでどうぞよろしくお願いたします。

《人事》	
○退職	金信 昌樹
特任教授	藤重 育子
助教	田中 薫
助教	土肥 稔治
キャリア支援センター長	日沖 歩
事務局総務課	大久保 孝
キャリア支援センター	西出 美紀子
学生相談室	
○異動	藤井 徳雄
事務局次長	

同窓会の近況

北端 一子

高田短大が、開学五十年と記念すべき年を迎え、おめでとうございます。その年代に応じた対応で変革を遂げている短大の現実、卒業生の一人として誇らしく思います。これからますます地域に社会に親しまれる短大を目指していつてほしいと思っております。

そのためにも、卒業生のひとりとして、しっかりと足跡を残していかなければならないと感じています。

さて同窓会の活動として、役員会の開催と高田短大の学園祭に参加し、バザーをしております。同窓生の集まりに少しでも援助できたらと始めました。理事の方や卒業生の協力で、品物が集まりま



卒業生からの メッセージ

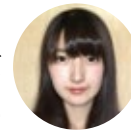
子どもの「先生」になって
子ども学科 平成二七年度卒
渡部 恵理加



① 多度保育園 ② 自
分のクラスを持た
せていただき、日々
子ども達と接する
中で子ども達の成長を共に喜び
合えること、そして子ども達の姿
から先生としての自分自身も成
長してゆけることです。分から
ないことが多く、思い通りに保
育ができない自分に焦りを感じ、
悩むことが多くありますが、子
ども達の可愛い笑顔を見るたびに
頑張ろうと気持ちを立て直すこ
とができています。③ もっと子
ども達との信頼関係を築き、保護者
の方々からも「恵理加先生なら安
心して任せられる」と感じていた
だけのような保育者になること
です。④ 同じ夢を持つ仲間や親身
になって考えてくださる先生方
に支えていただきながら学べる
場所です。⑤ 自分の進路につい
て、沢山悩むことかと思えます。
一人で悩まずに家族や友人、先生
に相談してじっくりと考えてく
ださい。広い視野で考えたとき、
本当にやりたいこと、なりたい自
分が見えてくると思います。

- ① 勤務先
就職して嬉しかったこと、
辛かったこと
- ② 将来の夢
③ 高田短大とは
④ 後輩へのメッセージ

「社会人として新たなスタート」
キャリア育成学科オフィスワークコース
平成二七年度卒
出口 真衣



① 愛知県弥富市役
所 ② 対応した市民
の方が笑顔に向け
てくださったこと
です。まだまだ
難しい事や大変なことが多い
ですが、挨拶と笑顔を常に心掛
けています。また、私は県外に
就職したので、地名や道を覚え
ることが大変です。ですが、仕
事内容も楽しくて、とてもやり
がいを感じています。市民の方
からの質問にちゃんと対応出来
るように頑張ります。③ 公務員
である自覚をしっかりと持ち市
民の方の気持ちに寄り添える市
職員になりたいです。④ 高田短
大とは、楽しかった事や辛かつ
た事がたくさんありました。が、
支えてくれた先生や友達が温か
くて色々な経験ができた場所
です。高田短期大学で良かったな
と心から思います。⑤ 短大生活
の二年間はあつという間なので
自分のやりたいことにどんどん
挑戦してください。たくさん
思い出を友達や先生と作って
ください。

なりたい自分を目指して
キャリア育成学科介護福祉コース
平成二七年度卒
高田 柚希



① 医療法人富田浜
病院回復期リハビ
リ病棟 ② 手術後の
リハビリで患者様の回復を目指
すところなので、この前まで車
椅子だった方が杖で歩けるよう
になったり、キザミ食だった方
が普通食を食べられるようにな
るなど、回復して元気になって
いく姿を見ると、とてもうれし
い気持ちになります。③ 患者様
の心に寄り添った介護ができ、
患者様に必要とされる介護福祉
士になりたいです。④ 専門的な
ことが学べる設備・環境が整っ
ていて、とても学びやすい学校
だと思っています。また、人間関係
の大切さを学びました。⑤ 学ん
だことは就職したときに必ず役
に立ちます。たくさん知識が
あればできることの幅は広がり
ます。2年間の短い期間で自分
のやりたいことを探し、いろい
ろな視点で物事を見て人の気持
ちにより添えるよう「やわらか
心」を育ててください。



公告 平成27年度における学校法人高田学園の決算は次のとおりですので、当学園寄附行為第40条の規定に基づき公告いたします。

学校法人 高田学園
(単位: 円)

貸借対照表 (平成28年3月31日)

資産の部				負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	(8,031,953,215)	(7,779,641,206)	(252,312,009)	固定負債	(238,628,844)	(235,994,999)	(2,633,845)
有形 固定 資産	(6,678,812,069)	(6,485,890,361)	(192,921,708)	退職給与引当金	238,628,844	235,994,999	2,633,845
土 地	1,023,266,286	865,121,227	158,145,059	流動負債	(583,008,194)	(430,562,292)	(152,445,902)
建 物	4,299,888,123	4,495,052,277	△ 195,164,154	短期貸入金	130,000,000	0	130,000,000
構築物	977,847,178	736,603,458	241,243,720	未払金	71,565,118	54,029,040	17,536,078
教育研究用機器備品	110,276,936	109,405,394	871,542	前受金	296,998,796	291,633,796	5,365,000
管理用機器備品	6,611,084	7,502,007	△ 890,923	預り金	26,757,975	25,720,171	1,037,804
図 書	218,669,236	216,315,865	2,353,371	修学旅行費預り金	52,488,500	53,559,241	△ 1,070,741
車 輛	12,333,748	16,027,440	△ 3,693,692	卒業諸費預り金	5,197,805	5,620,044	△ 422,239
学苑林	29,919,478	29,919,478	0	負債の部合計	(821,637,038)	(666,557,291)	(155,079,747)
建設仮勘定	0	9,943,215	△ 9,943,215	純資産の部			
特定資産	(1,282,484,107)	(1,274,944,600)	(7,539,507)	科 目	本年度末	前年度末	増 減
退職給与引当特定資産	261,008,500	261,008,500	0	基本金	(11,643,003,673)	(11,306,969,655)	(336,034,018)
施設設備拡充引当特定資産	987,344,807	937,450,000	49,894,807	第1号 基本金	11,462,003,673	11,125,969,655	336,034,018
長期火災保険特定資産	34,130,800	76,486,100	△ 42,355,300	第4号 基本金	181,000,000	181,000,000	0
その他の固定資産	(70,657,039)	(18,806,245)	(51,850,794)	繰越収支差額	(△ 3,939,838,173)	(△ 3,668,282,743)	(△ 271,555,430)
借地権	2,257,500	2,257,500	0	翌年度繰越収支差額	△ 3,939,838,173	△ 3,668,282,743	△ 271,555,430
電話加入権	1,285,980	1,285,980	0	純資産の部合計	(7,703,165,500)	(7,638,686,912)	(64,478,588)
施設利用権	659,750	740,460	△ 80,710	負債及び純資産の部合計	(8,524,802,538)	(8,305,244,203)	(219,558,335)
ソフトウェア	1,652,400	0	1,652,400				
有価証券	49,946,674	2,853,674	47,093,000				
差し入れ保証金	350,000	350,000	0				
長期前払金	14,504,735	11,318,631	3,186,104				
流動資産	(492,849,323)	(525,602,997)	(△ 32,753,674)				
現金預金	298,368,451	313,865,246	△ 15,496,795				
未収入金	104,512,435	124,524,268	△ 20,011,833				
前払金	471,180	364,530	106,650				
立替金	31,812,923	27,669,668	4,143,255				
修学旅行費預り資産	52,488,500	53,559,241	△ 1,070,741				
卒業諸費預り資産	5,195,834	5,620,044	△ 424,210				
資産の部合計	(8,524,802,538)	(8,305,244,203)	(219,558,335)				

平成27年度卒業生 就職先等一覧

子ども学科

◆公立幼稚園

志摩市立鶴方幼稚園、津市立高岡幼稚園、津市立みさと幼稚園、明和町立斎宮幼稚園、明和町立双葉幼稚園、四日市市立八郷中央幼稚園

◆私立幼稚園

有馬幼稚園、道伯幼稚園、みずきが丘道伯幼稚園、ときわ幼稚園、羽津文化幼稚園、ひかり幼稚園、まさば幼稚園めぐみの園幼稚園

◆公立保育園(所)

伊賀市立依那古保育所、伊勢市立あけぼの園、伊勢市立五峰保育園、伊勢市立大世古保育所、伊勢市立二見浦保育園、孤野町立千種幼稚園、志摩市立大王保育所、鈴鹿市立西条保育所、大紀町立柏崎わかば保育園、多気町立相可保育園、多気町立佐奈保育園、多気町立勢和保育園、津市安濃保育園、津市香良洲保育園、津市川合保育園、津市雲出保育園、津市高茶屋保育園、津市八知保育園、津市ひとみね保育園、津市北部保育園、鳥羽市立安楽島保育所、松阪市立大津保育園、松阪市立春日保育園、松阪市立西保育園、松阪市立ひかり保育園、松阪市立三雲北保育園、松阪市立三郷保育園、松阪市立やまなみ保育園

◆私立保育園

あかつき保育園、あけの保育園、いそやま保育園、嬉野保育園、えがお

志摩保育園、大里保育園、尾鷲乳児保育園、風の丘藤水保育園、片田保育園、上里保育園、亀山愛児園、神戸保育園、久保保育園、くまだ保育園、ぐみの木ほいくえん、さくら保育園(松阪)、すぎのこ保育園、梅檀保育園、たいすい保育園、第二石薬師保育園、第二はなこま保育園、高田保育園、高花平保育園、多気の杜ゆたか園、多度保育園、津カトリック保育園、鼓ヶ浦保育園、ながさわ保育園、中瀬城東保育園、なかよし保育所、長太の浦保育園、七和保育園、西浦保育園、ハートピア保育園、はなこま保育園、ひかり保育園(紀北)、久居保育園、ひので保育園(ひばり保育園(鈴鹿)、ひばり保育園(川越町)、フジ保育園、藤水保育園、三重愛育保育園、三重保育園、みそら保育園、みのり保育所、ゆたか保育園、ゆめが丘保育所、わかすぎ保育園、わかすぎ第二保育園、第二はなこま保育園

◆公立認定こども園

大台町立三瀬谷認定こども園、多気町立津田認定こども園

◆私立認定こども園

こどもの杜ゆたか園、みらいの森ゆたか園、杜の街ゆたか園、明和ゆたか園、修道こども園

◆児童養護施設

エスペランス四日市乳児院、里山学院乳児院、聖母の家のぞみ寮、乳児院津市たるみ児童福祉会館、名張養護学園、聖の家

◆障害者・老人施設

(二社)ともだち、三重県いなば園、桑

名市療育センター

◆企業

(株)テニスラウンジ、(株)写真のはせひらい、ファミリークリニック、マックスパリュ中部(株)、川井町店、長島観光開発(株)、遊園地部 DogCityオンタウン津城山店

◆建設業

三重水熱工業(株)、横山総合設備(株)

◆製造業

(株)トピア、(株)丸協食産、(株)エソニリアリング三重、(株)オクノ・テック、パイロットインキ(株)、(株)東研サーモテック、フタバ電子工業(株)、村田機械(株)、(株)帝国機械製作所

◆電気・ガス

朝日ガスエナジー(株)

◆情報通信

(株)サイネックス

◆運輸業・郵便業

(株)ミヤマトータルイノベーション、杉栄開発(株)

◆卸・小売業

(株)トヨタレンタリース三重、(株)ハート、(株)クスハラ自動車(株)、メデイカル光、旭建材(株)、(株)エムワン、(株)扇電機、シンフォニア商事(株)、(株)スズケン、(株)ダイワコーポレーション、ネットトヨタノヴェル三重(株)、ネットトヨタ三重(株)、三重いすゞ自動車(株)、(株)ミエライス、(株)メデイカルリンク、(株)八

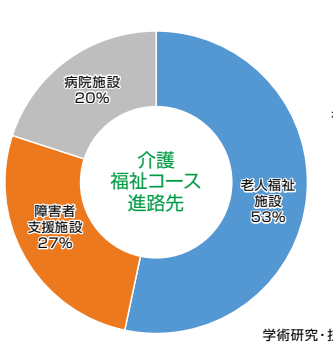
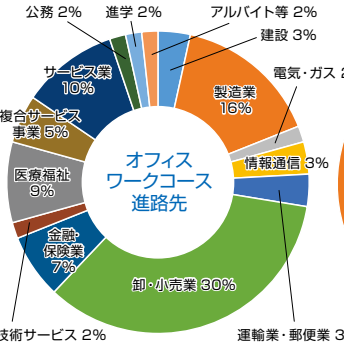
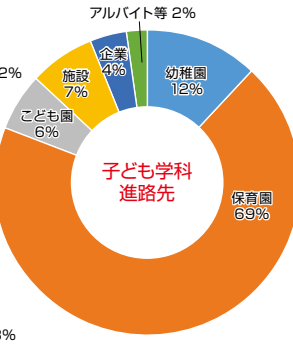
神製作所、三重ダイハツ販売(株)

◆金融・保険業

(株)第三銀行、(株)百五銀行、(株)三重銀行

◆学術研究 技術サービス

税理士法人中央総研



◆医療福祉

上島小児科、さくら歯科、聖マツテヤ心豊苑(事務)、まつおか整形外科、丸の内まつなが眼科

◆複合サービス事業

J A伊勢、J A多気郡、J A三重中央、

◆サービス業

イセツト(株)、(二社)鈴鹿医師会、百五オフィスサービス(株)

◆公務

弥富市役所

◆進学

旭美容専門学校

キャリア育成学科(介護福祉コース)

◆老人福祉施設

くぬぎの木、鈴鹿聖十字会、青山里会、聖フランシスコ会、報徳園

◆障害者支援施設

聖愛園、聖マツテヤ心豊苑、和順会

◆病院施設

富田浜病院グループ、村瀬病院グループ

◆編集後記

皆様のご協力によりまして、高田短期大学通信第五十一号発行の運びとなりました。今号は、本学の開学五十周年を記念する式典のご案内等掲載いたしました。今後ともご支援を賜りますようお願いいたします。

※「高田短期大学通信」題字デザインは、キャリア育成学科二年生南由佳さんの応募作品を元に作成しました。